



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年5月27日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

～SDGs 体験学習訪問地～

【① 山田堰】

【② 朝倉の揚水車群(三連水車 他)】

【③ 太刀洗平和記念館】

【④ 福岡市科学館】

【⑤ 九州国立博物館】

【⑥ その他(朝倉市 特別天然記念物 古処山ツゲ原始林)】

【⑦ その他(朝倉市 無形文化財 泥打祭り)】

2年生 SDGs 体験学習へ向けて(朝倉市～福岡市)

5月31日(火)・6月1日(水)の2日間、2年生は農村民泊体験学習に代わる行事として、「SDGs 体験学習」を実施します。本校は、「ユネスコスクール」「SDGs 教育推進校」です。2年生のみなさんには、仲間と一緒に多くのことを学んでほしいと思います。

(保護者の皆様へ)昨年度から九重での農村民泊体験学習を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症がいまだに収束しない状況で、「一個人の家に宿泊するリスク(もちろん各農家で感染防止策はとっているとは思いますが)」を考え、修学旅行に準じた行事に変更しました。訪問施設での感染対策を万全に取りながら、有意義な活動にしたいと考えています。

2年生の皆さんへ～SDGs 宿泊体験学習を有意義なものにするために～

5月31日(火)・6月1日(水)の1泊2日のSDGs 宿泊体験学習は、中学校に入って最初の宿泊行事です。最高の思い出を作るために、一人一人が自覚と目標をもって参加しましょう。宿泊行事には、しっかりとした理由があります。その理由や意義を一人ひとりが押さえていないと、ただの旅行になってしまいます。以下の2点の理由をしっかりと考えてみましょう。

第1の理由は、学校や家庭から離れ、自然や本物の文化などに触れる体験を通して、普段の学習活動を充実発展させるためです。重要なのは、朝倉市での自然体験や大刀洗平和記念館、福岡市科学館、九州国立博物館での歴史文化に触れる体験が振り返りによる新たな学びとならないと、「経験」にはならないということです。「すごかった」「楽しかった」で終わるなら、それは家族旅行で十分ですね。事後の学習に体験したことを生かしてください。

第2の理由は、校外での集団活動を通して、人と人との人間的な触れ合いを深め、集団生活の大切さや、考え方の違う人とつきあう難しさや面白さに出会うためです。いろいろなタイプの人がいる集団やクラスで、よりよい人間関係を作ろうとする意欲や態度こそ、今後の皆さんの最も大きな力となります。難しいかもしれませんが、その分だけ得るものは大きいのです。

SDGs 宿泊体験学習は2日間、およそ35時間の持ち時間です。集合の合図から完了するまでの時間など、みんながそろろうのを待つ無駄な時間を「0(ゼロ)」に近付けることで、楽しい時間を減らさずに済みます。あなた自身の時間はみんなの時間でもあります。叱られる時間、反省する時間、そんな時間はない方がいいですよ。ましてや、けがをして、病院に行く…などないように願います。

2年生の皆さんと先生方で一緒に楽しいSDGs 宿泊体験学習にしましょう。

九州市立尾倉中学校 校長 栗原博巳